百名っ子 No.6

一人一人を大切にする温かい学校を目指して

令和８年１１月１８日（水）
南城市立百名小学校
文責　校長　前田　誠

友達と深めた絆、心に残る修学旅行

１０月８日・９日の１泊２日、６年生が修学旅行に行ってきました。

１日目は、ネオパークオキナワでスナネコなどの希少動物を見学した後、海洋博公園へ。美ら海水族館では、沖縄の海の生き物たちに興味津々の様子で、オキちゃんショーも楽しみました。宿泊先のマリンピアザオキナワでは、夜のレクリエーション大会で大いに盛り上がり、友達との楽しい時間を過ごしました。

２日目は、もとぶ元気村で紅型エコバッグづくりに挑戦したほか、イルカとのふれあいやバナナボートなどのマリンスポーツを体験しました。普段なかなかできない体験に、子どもたちの笑顔と歓声があふれていました。

２日間、子どもたちと一緒に過ごす中で、友達と声を掛け合い、互いに協力しながら活動する姿や、集団生活の中で自分の役割を果たそうとする姿がたくさん見られました。また、何よりも友達と過ごす時間を心から楽しんでいる様子が印象的でした。

今回の修学旅行は、楽しい思い出をつくるだけでなく、友達との絆を深め、一人一人の成長を感じる貴重な機会となりました。この２日間の経験を、これからの学校生活にも生かしてほしいと思います。



【マリン体験】


【夜の集い】


【６年生集合写真】


【朝食の一コマ】



【紅型体験】

伊江島で深めた絆、広がった学びと成長

１０月２８日～３０日の２泊３日、５年生が離島体験学習で伊江島を訪れました。今回の離島体験は、グループごとに伊江島の民家に宿泊し、島の家族と一緒に生活しながら、伊江島の自然や文化、人々の暮らしに触れる貴重な体験となりました。

１日目は、伊江島の「しまくとぅば」を学ぶ体験に挑戦しました。２日目は、ビーチクリーン活動や海洋アクセサリーづくりに取り組み、民家の皆さんと一緒に伊江島のシンボルである城山（伊江島タッチュー）にも登りました。また、それぞれの家庭で家業体験を行い、島の暮らしや仕事について学びました。３日目には、３日間の体験を振り返り、成果物の作成と発表を行いました。

今回の体験では、普段とは異なる環境の中で、仲間と協力することはもちろん、民家の皆さんとの交流を通して、相手を思いやる心や感謝の気持ち、自分で考えて行動することの大切さも学んだことと思います。特に、２日間お世話になった伊江島の家族とのお別れでは、涙を浮かべる子もいたと聞きました。それだけ心の通う温かな交流ができたのだと感じます。

伊江島での出会いや体験は、子どもたちにとって忘れられない宝物になったことでしょう。２泊３日の経験を通して、一回りも二回りも大きく成長した５年生。これからの学校生活でも、今回学んだことを生かしてくれることを期待しています。


【入　島　式】


【しまくとぅば体験】


【城山で記念写真】


【ビーチクリーン】


【船上からお別れ】